

11月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/11/01 (水)	東京の主要通貨は揉み合い、ハイライトはカナダで財務相発言を受けて欧州早朝にかけ100P以上急落。欧米は弱い米経済指標を受けてドルが買えない。しかし円やユーロも決め手に欠け買い難い雰囲気。	・10月のADP全米雇用報告12.8万人、同ISM製造業指数51.2、9月の建設支出 0.3% ・米著名情報社が「ECBは若干ハ派に転換した」とのレポート送信の噂	・カナダ財務相「インフラ投資優遇税制を見直す方針」	116.77 117.17 116.57 117.05	149.06 149.58 149.06 149.32	寄付 安値 高値 終値
06/11/02 (木)	東京は三連休を前にしたショートカバーも見られ、ドル小じっかり。福井発言も期待はずれで円売り要因。欧米は渡辺発言で一転しドル売り・円高優勢。しかしその後はジリジリと値を戻す。	・ECBが金利の据え置きを決定 ・第3四半期の米労働生産性速報値0.0%、9月の米製造業受注2.1%	・福井日銀総裁「次の利上げ、予断を持って臨んでいない」 ・渡辺財務官「日本の実体経済面から円がさらに弱くなる理由はな ・ECB総裁「インフレには強い警戒が必要」	117.24 117.38 116.67 117.14	149.54 149.74 148.86 149.69	寄付 安値 高値 終値
06/11/03 (金)	アジアタイムは東京休場で閑散小動き。ユーロ/円で若干の価格変動が見られた程度。欧米は当月の米雇用統計が悪化したことで瞬間ドル売り。しかし前月上旬修正を好感し、その後反騰高。	・東京市場休場 ・中国人民銀行が預金準備率を0.5%引上げ発表、実施は15日から ・10月の米失業率4.4%、同非農業者雇用数9.2万人、同ISM非製造業指数57.1		117.12 118.19 116.97 118.00	149.66 150.19 149.44 150.07	寄付 安値 高値 終値
06/11/06 (月)	東京はドル安スタート後日中の安値をつけるもドル売り続かず。その後はジリジリとドル買い優勢に。欧米は翌日の米中間選挙にらみで動意薄。ただシカゴ連銀総裁の発言などもありドルは終日しっかり。		・カナダ中銀総裁「中国、人民元の急速な変動相場制移行は不適切」 ・シカゴ連銀総裁「インフレ期待に警戒が必要」 ・オーストラリア財務相「日本経済は為替市場が示しているよりも強い」	117.92 118.46 117.79 118.30	149.96 150.58 149.87 150.52	寄付 安値 高値 終値
06/11/07 (火)	東京は複数の要人発言がすべてドル安あるいは円高を示唆するものであったためドル安・円高が進行。欧米もドルが買えない。米中間選挙を睨みつつ動意乏しいなか、ドルがじり安推移。	・米中間選挙の投票開始	・トランプ大統領「円相場に関してはG7/スタンスを堅持」 ・SF連銀総裁「複数の国がドル資産への選好度を弱める可能性が ・日銀総裁「何かのリスクが見えるまで何もしないというシナリオではない」	118.18 118.27 117.25 117.70	150.40 150.52 150.18 150.37	寄付 安値 高値 終値
06/11/08 (水)	東京は水野発言に加え、米中間選挙で与党共和党劣勢が伝えられ、ドルが軟調裡。欧米は中国に関する噂で円高スタート。しかしイベント終了もあり、その後は徐々にショートカバーが優勢に。	・9月の景気一致指数50.0% ・中国が外貨準備高で年内一杯円買い、ユーロ買いを実施との噂あり	・リッチモンド連銀総裁「FRBはインフレ抑制のため進んで措置をとる」 ・水野日銀審議委員「年末にかけての経済指標が弱くても一時的な振れなら徐々に金利調整を行うことが適切」	117.60 118.01 117.38 117.85	150.27 150.50 150.17 150.34	寄付 安値 高値 終値
06/11/09 (木)	東京は欧米の流れからドル高レベルで寄り付くも続かず、とくに対ユーロでドルは弱含み。欧米は米貿易赤字の大幅改善を受けてドル急反発。対円では一時118.60円の高値示現。	・BOEが政策金利を25BP引き上げ ・9月の米貿易赤字 643億ドル、対中 229.6億ドル、対日 67.3億ドル、11月のシカゴ小売消費者信頼感指数速報値92.3	・米中間選挙で野党民主党が上下院とも過半数獲得、それを受けて共和党ブッシュ大統領が敗北宣言並びにラムズフェルド国防長官を更迭へ ・中国人民銀行総裁「中国当局には外準を分散させる明確な計画がある」	117.85 118.60 117.71 117.93	150.35 151.48 150.32 151.28	寄付 安値 高値 終値
06/11/10 (金)	東京は福井発言を受けて円高が進行。しかし機械受注の悪化が足枷となり、終盤に円は上げ渋り。欧米は人民銀行総裁の発言を受けてドル独歩安。その後ややトングラン下発言も聞かれたが効果は限定的。	・9月機械受注 7.4%、その後内閣府から「機械受注は“このところ一進一退で推移している”に判断下方修正」と発表あり	・日銀総裁「見通しどおりに経済が推移するならば政策金利をゆっくり引き上げることが整合的」 ・人民銀行総裁「保持している米資産を縮小する政策を維持、ただその後ドルを売却する予定はない」とも	117.80 117.87 117.18 117.57	151.18 151.27 150.90 150.98	寄付 安値 高値 終値
06/11/13 (月)	東京は小動き。ただ米債の償還に関する動きからハイアスとしてはやや円買い優勢ムード。欧米は終盤に掛けて円独歩安。本邦GDP悪化思惑が嫌気され損切りを巻き込みつつ全面安の様相に。	・9月の経常黒字2兆249億円、同貿易黒字1兆1070億円、同鉱工業生産確報 0.7% ・14日発表の本邦GDPがマイクスに落ち込むとの噂が台頭	・中川自民党政調会長「テラ脱却はまだ早い、利上げ実施なら大きな影響」	117.54 118.30 117.13 118.17	151.00 151.45 150.82 151.33	寄付 安値 高値 終値
06/11/14 (火)	東京は悪化期待が裏切られた本邦GDPを受けて円が急伸。そのまま円高値圏でロンドンへ。欧米はユーロ主導の展開、ビッグスリーと米大統領の会談は不調に終わったこともあり、特段材料視されず。	・第3四半期GDP速報値0.5% ・第3四半期独GDP0.6%、11月のZEW景気期待指数 28.5 ・第3四半期ユーロ圏GDP0.5% ・10月の米PPIは 1.6%、同小売売上高 0.2%	・仏首相「ユーロ高が輸出企業に不利となる」 ・米自動車ビッグスリーと米大統領が会談、その後ビッグスリー幹部が「円は人為的に低く抑えられている」	117.64 117.96 117.25 117.62	150.84 151.30 150.54 150.66	寄付 安値 高値 終値
06/11/15 (水)	東京はレンジ相場。ただ円は小安い。官房長官発言なども期待外れに終わり若干の失望売りも。欧米は結果ユーロ高、FOMC議事録も決して弱いものではなかったが期待感が強く発表後は失望売り優勢。	・第3次産業活動指数 1.3% ・BOE四半期物価報告「英金利は市場予想ほど上昇する必要ない」 ・11月NY連銀景況指数26.7 ・FOMC議事録「インフレリスクは依然懸念、追加引き上げの可能性」	・カナダ財務省高官「不均衡是正にはアジア通貨の一段の柔軟性が必要」 ・塩崎官房長官「為替はファンダメンタルズと経済情勢により市場で決められる」	117.65 118.20 117.55 118.03	150.73 151.44 150.64 151.41	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで